神奈川のエンジン

ちぼり

「湯河原スイーツファクトリー」好評

客の声 商品開発に生かす

神奈川県湯河原町に昨年11月開業した菓子の購入や工場見学ができる施設「ちぼり湯河原スイーツファクトリー」が人気だ。運営するのは贈答用焼き菓子製造・販売のちぼり（湯河原町）。本社兼工場の建て替えを機に地元住民や観光客らも楽しめる施設へと生まれ変わった。今後の商品開発に生かすと共に、知名度向上を図る。

同施設は地上4階建てで、延べ床面積約6000平方㍍。ちぼりグループのオフィスに自社商品を販売する直営店やカフェ、工場見学のスペースを併設している。「新たな観光拠点として地元に貢献するとともに、消費者とじかに接する機会を増やしたい」（樋口浩司会長）と約32億円を投じて旧本社を建て替えた。

同社は「赤い帽子」などのブランドで百貨店や洋菓子店、スーパーなどに卸してきたが、中元・歳暮市場の縮小などに加え、東日本大震災を機に消費者の志向が変化。「儀礼的な贈り物よりも親しい人に『これだ』と思う品を贈りたい」と思う人が増えた」（樋口会長）と、1種類の菓子を1人でも食べられる量に詰め合わせた缶入り商品を主力とした手ごろな価格の商品を増やしていった。

以前は複数種類の菓子の詰め合わせが生産の7割、単品の菓子は3割だったが、現在は半々となった。

同施設では地元食材を使ったゼリーやミルフィーユなど限定商品を開発し、施設名と同じ「ちぼり湯河原スイーツファクトリー」のブランドで25種類を販売している。「販路ごとに異なる種類や価格帯の商品を開発してきたので従来はあえて社名を出さなかった」（同社）が、限定商品は前面に出し知名度向上を狙う。

集客は好調で、年間10万人を目指していたが2倍以上を見込む。「客の意見を直接聞く機会が増え、商品の改良だけでなく社員のモチベーションアップにもつながっている」と同施設の大木弘丈店長は話す。

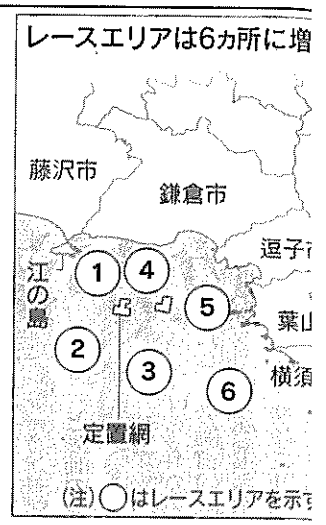
海外事業では中国など20カ国・地域に缶入り商品を輸出している。今後、注力するのが米国。「景気が上向きで菓子を楽しむ機会が増える」（樋口会長）とみる。日本と同じ商品を輸出していたが、専用のパッケージや味を開発中で9月の発売を目指す。現在17%ほどの海外売上高比率をまずは20%に引き上げる考えだ。

課題は生産ラインへの効率的な投資だ。国内では単品商品が伸びているが、海外では複数種類の詰め合わせの人気が高い。詰め合わせと単品では生産のノウハウやラインが異なり、生産性を高める手法を検討している。（おわり）

ちぼり湯河原スイーツファクトリーでは工場見学もできる（神奈川県湯河原町）

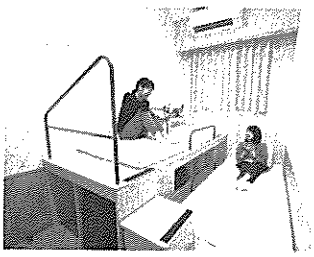
《会社概要》
▽本　社　神奈川県湯河原町土肥1の15の4
▽創　業　1946年
▽売上高　119億7000万円（2018年6月期見込み）
▽従業員数　約800人

横浜支局 045-201-2551
川崎支局 044-222-7793



レースエリアは6カ所に増

ールドカップ（W杯）について、大会実行委員会は28日、海上のレースエリアを6カ所にする方針を発表した。これまで検討していた5カ所から増やす。漁業関係者などの要望を踏まえたもので、ねる。五輪の組織委員会が17年11月に鎌倉市や逗子市などの海岸近くのエリアを含む5カ所での開催を提案。江の島近辺の漁業関係者は「沿岸近くは漁を妨げやすく、可能な限り避けてほしい」と


全室個室で鍵がかけられるが、トイレやシャワールームは共用（室内イメージ）

相鉄、京都に新型ホテ

相鉄グループの相鉄ホテルマネジメントは10月、京都府に新型ホテル「THE POCKET HOTEL KYOTO 烏丸」を開業する。価格やサービスはホテルとカプセルの中間の位置づけ。客室は全室個室で鍵がかけられるが、トイレやシャワールームは共用となる。

阪急京都線の

再配達荷物受け取り

京王、7駅で可能に

京王電鉄は7駅で、佐川急便が取り扱う在再配達の荷物をインロッカーで受けられるサービスを京王線の笹塚駅、